

価値訴求型製品が一堂に

日本食糧新聞社は9日午後2時から、東京・新橋の第一ホテル東京で「第16回日食優秀食品機械資材・素材賞」の贈呈式・祝賀会を開催する。今年は機械部門6製品、資材部門5製品、素材部門4製品の計15製品が受賞の栄誉に輝いた。選考会では石谷孝佑委員長（日本食品包装協会理事長）のほか8人の委員が出席し、部門別の候補製品を慎重に審議した。式典は「第16回業務用加工食品ヒット賞」の贈呈式・祝賀会と併せて開催される。会場では受賞製品のパネル展示や、原田泳幸日本マクドナルドホールディングス代表取締役会長兼社長兼CEOの「明日を聞く！マクドナルドの経営改革」と題した講演も行われる。（涌井美）

第一ホテル東京で贈呈式・祝賀会

「第16回業務用加工食品ヒット賞」と共催

受賞製品(部門別・五十音順)

機械部門

- デュアルエナジーセンサ搭載X線異物検出機
アンリツ産機システム
- i-STATION LINK2
イシダ
- 容器洗浄脱水装置
クレオ
- 新型無煙ロースター「J」シリーズ
シンボ
- トーヨーロースナイ精米機
東洋精米機製作所
- チキン胸肉脱骨ロボット「イールダスEYE」
前川製作所

資材部門

- MR-PET（ボトル to ボトルリサイクル
対応PET樹脂）
協栄産業
- ワイン対応ニューボトル缶および
スリムワインボトル
大和製罐
- Hot Magic Cup
東緯興業
- 無色透明ハイバリアペットボトル「GL-C」
凸版印刷
- 高濃度食器用洗剤「マイソフト コンク」
ニイタカ

素材部門

- 粉末しょうゆDN
キッコーマン食品
- J麵
群馬製粉
- のび〜るとろりんチーズソース
田中食品興業所
- ニップンセラミドシリーズ
日本製粉

賞の概要

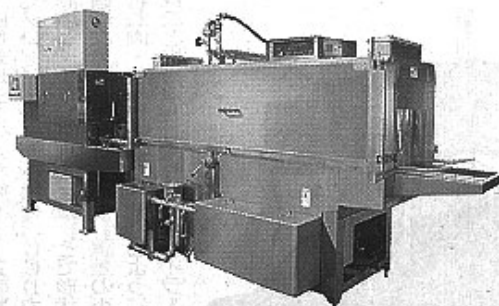
「日食優秀食品機械資材・素材賞」は、優秀な食品機械・関連資材・素材に顕彰と感謝の意を表し、98年に日本食糧新聞創刊55周年

を記念して創設された。食品業界を支える機械・資材・素材の3部門で、市場の活性化や技術革新において食品業界の発展を支えた製品を表彰するもの。▽「賞」制定の目的は食品業界の発展を期すため、食品業界をバックアップする機械と資材・素材分野の力強い発展を期して、顕彰と感謝を表するため制定された。

▽選考方法 各業界・関連団体の代表、学識経験者として販売を増進、業界の活性化に貢献している製品の選考委員会を設け、受賞対象製品に関する資料を作成、委員による討議を行い、協議の上決定する。▽選考基準 ①食品業界で新製品の創出に役立ち、製品。

自動で洗浄、脱水連続処理

容器洗浄脱水装置 クレオ



容器洗浄脱水装置

工場から配送センターや店舗に商品を運ぶ際に使用する「通箱」と呼ばれる流通容器は、衛生管理の観点から洗浄が重要だ。このため、今後も同装置に対する需要は拡大していくものと予想される。

（木下 猛統）

美感・衛生・環境に配慮



門脇 清和社長

ノウハウなどのサニテーションソフトを提供しています。さらに、それを維持していくためには常にお客さまの実情をよく把握し、問題の提起と対策を行うこと、これを実行するメンテナンスシステムも充実させています。

クレオの「容器洗浄脱水装置」はコンベヤ搬送タイプの容器洗浄脱水装置だ。入口に投入すれば、洗浄から脱水まで自動で連続処理する。

流通容器の乾燥は、従来は熱風方式が主流だったのに対して、同装置では乾燥度で熱風方式と同等のレベルを保ちながら、高速回転の遠心力で水を切る遠心脱水方式を採用した。連続処理を行うことで、処理能力も一枚ずつ投入・取り出しを行うパッチタイプの約10倍以上に相当する毎時50

量、蒸気使用量ともに約3割程度の削減も可能だ。省エネルギー効果だけでなく、音が静かなこと、作業場が暑くなりにくいことなどから、作業環境も大幅に改善できる。

また、アフターケアが万全な点もユーザーから高い評価を受けている。

現在、省エネルギーとラベリングコスト削減の観点から、コンビニエンスストア（CVS）のベンダーや、食品メーカーの工場、物流センターなどを導入が進む。食品メーカーの工場、洗浄課題を解決する手法や

当社は創立以来、食品加工業の「美感と衛生」に携わってまいりました。これまで培ってきた経験と豊富な実績を生かし、皆さまのニーズにお応えできる洗浄装置、洗剤などのハード、洗浄課題を解決する手法や

日食優秀食品機械資材・素材賞

技術・提案力 高く評価

華やかに贈呈式・祝賀会

本紙創刊70周年記念 地域特別貢献賞も

日本食糧新聞社 第15回日食優秀食品機械資材・素材賞/第16回業務用加工食品ヒット賞



約450人が参加した贈呈式 (9日、東京・新橋の第一ホテル東京で)

日本食糧新聞社は9日、東京・新橋の第一ホテル東京で「第15回日食優秀食品機械資材・素材賞」(第15回業務用加工食品ヒット賞)の贈呈式・祝賀会を行った。会場には賞状と賞品を約450人が集まった。今回、受賞の栄誉を輝いたのは「機械資材・素材賞」が第15回「業務用加工食品」は4部門12商品に加え、「審査委員会特別賞」が1商品、日本食糧新聞・創刊70周年記念「地域特別貢献賞」が4商品の計17商品。食品業界の発展に大きく貢献した技術力・提案力が高く評価された。

贈呈式では、主催者 業務用加工食品に対して敬意を込めて賞状を授け、その後、受賞者に賞状が手渡された。続いて同様の進捗を、祝賀会後の交流・祝賀パティールには、食に携わる多くの関係者が参加。会場では、外食品開発委員会が「機械資材・素材賞」

こあいさつ

第15回日食優秀食品機械資材・素材賞は、機械部門6品、資材部門5品、審査委員会特別賞1品の計12商品が受賞した。第16回業務用加工食品ヒット賞は、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品が受賞した。第16回業務用加工食品ヒット賞は、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品が受賞した。

新価値創造をリード

日本食糧新聞社 代表取締役社長 **今野 正義**

ある価値創造のリーダーとして、新価値創造をリードする。第15回日食優秀食品機械資材・素材賞は、機械部門6品、資材部門5品、審査委員会特別賞1品の計12商品が受賞した。第16回業務用加工食品ヒット賞は、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品が受賞した。

- 受賞製品**
- 第15回日食優秀食品機械資材・素材賞 (機械部門)
 - 第15回日食優秀食品機械資材・素材賞 (資材部門)
 - 第15回日食優秀食品機械資材・素材賞 (審査委員会特別賞)
 - 第16回業務用加工食品ヒット賞 (加工食品部門)
- 第16回業務用加工食品ヒット賞**
- 加工食品部門
 - 加工食品部門
 - 加工食品部門
 - 加工食品部門
 - 加工食品部門
 - 加工食品部門
 - 加工食品部門
 - 加工食品部門
 - 加工食品部門
 - 加工食品部門
 - 加工食品部門
 - 加工食品部門

第15回日食優秀食品機械資材・素材賞は、機械部門6品、資材部門5品、審査委員会特別賞1品の計12商品が受賞した。第16回業務用加工食品ヒット賞は、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品が受賞した。

第15回日食優秀食品機械資材・素材賞は、機械部門6品、資材部門5品、審査委員会特別賞1品の計12商品が受賞した。第16回業務用加工食品ヒット賞は、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品が受賞した。

第15回日食優秀食品機械資材・素材賞は、機械部門6品、資材部門5品、審査委員会特別賞1品の計12商品が受賞した。第16回業務用加工食品ヒット賞は、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品、加工食品部門12商品が受賞した。